

2018年廃タイヤ（使用済みタイヤ）リサイクル状況

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

1. 発生量

2018年（1～12月）の日本国内における廃タイヤ（使用済みタイヤ）の発生量は、「タイヤ取替え時」「廃車時」の合計で、本数で9,600万本、重量で103万2,000トンと、前年と比較して本数で100万本減少、重量で2,000トン減少した。

① タイヤ取替え時

「タイヤ取替え時」の発生量は、本数で8,200万本、重量で89万2,000トンと、前年と比較して本数、重量ともに減少した。

これは、全体的に市販用タイヤの販売本数が減少した事が影響している。

② 廃車時

「廃車時」の発生量は、本数で1,400万本、重量で14万トンと、前年と比較して本数は横ばい、重量は微増となった。

2. リサイクル状況

2018年のリサイクル利用量は、合計で99万7,000トンと、前年より3万2,000トン増加し、リサイクル率は97%と4ポイント上昇した。

3. その他

当会が公表しているリサイクル状況は、日本国内で発生した廃タイヤ（使用済みタイヤ）の処理状況を把握するためのものであるため、集計対象外ではあるものの、近年、国内の熟利用先が海外から廃タイヤの切断品/破砕品を有価購入する状況が続いている。

2018年の年間輸入量は約9万トンと、前年より約2,000トン増加しており、代替燃料としての廃タイヤの需要の高さを物語っている。

ただし、国内の熟利用先が代替燃料として廃タイヤの切断品/破砕品を購入する際の価格は、他の廃棄物由来燃料との競合により、数年前と比較して大幅に下落している。

以上

1. 廃タイヤ(使用済みタイヤ)のルート別発生量

	2016年				2017年				2018年					
	本数 (百万本)	重量 (千トン)	構成比(%)		本数 (百万本)	重量 (千トン)	構成比(%)		本数 (百万本)	重量 (千トン)	構成比(%)		対前年比(%)	
			本数	重量			本数	重量			本数	重量	本数	重量
タイヤ取替え時	81	879	86	88	83	897	86	87	82	892	85	86	99	99
廃車時	13	118	14	12	14	137	14	13	14	140	15	14	100	102
合計	94	997	100	100	97	1,034	100	100	96	1,032	100	100	99	100

2. 廃タイヤ(使用済みタイヤ)のリサイクル状況

		2016年		2017年		2018年			
		重量(千トン)	構成比(%)	重量(千トン)	構成比(%)	重量(千トン)	構成比(%)	対前年比(%)	
リサイクル利用	国内 原形加工利用	更生タイヤ台用	53	5	54	5	51	5	94
		再生ゴム・ゴム粉	104	10	118	11	120	12	102
		その他	5	1	6	1	1	1	17
		小計(A)	162	16	178	17	172	17	97
	国内 熱利用	製紙	407	41	436	42	446	43	102
		化学工場等	58	6	47	5	66	6	140
		セメント焼成用	63	6	70	7	64	6	91
		製鉄	19	2	17	2	14	1	82
		ガス化炉	51	5	58	6	61	6	105
		タイヤメーカー工場	23	2	21	2	20	2	95
	海外 輸出	中・小ボイラー	5	1	3	1	3	1	100
		小計(B)	626	63	652	63	674	65	103
		中古タイヤ	108	11	131	13	148	14	113
海外 輸出	原燃料用チップ/カットタイヤ	7	1	4	1	3	1	75	
	小計(C)	115	12	135	13	151	15	112	
リサイクル利用合計(A+B+C)		903	91	965	93	997	97	103	
埋め立て		1	1	1	1	1	1	100	
その他		93	9	68	7	34	3	50	
小計(D)		94	9	69	7	35	3	51	
合計(A+B+C+D)		997	100	1,034	100	1,032	100	100	

※数値は四捨五入しているため、各項目を合算した値は合計(小計)項目の値と一致しない場合があります。

廃タイヤの不法投棄状況

(2019年2月末調査結果)

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

1. 調査結果

	行為者が特定されているもの					行為者が特定されていないもの				
	2018年2月		2019年2月		対前年 増減 (トン)	2018年2月		2019年2月		対前年 増減 (トン)
	件数	重量 (トン)	件数	重量 (トン)		件数	重量 (トン)	件数	重量 (トン)	
北海道	4	1,900	3	1,700	-200	1	20	1	20	0
東北	16	3,615	16	3,615	0	4	360	4	360	0
関東甲信越	21	8,729	21	8,689	-40	2	130	2	130	0
首都圏	4	1,395	4	1,395	0	5	435	5	435	0
中部	7	9,200	3	3,650	-5,550	0	0	0	0	0
近畿	3	564	0	0	-564	1	2,000	1	2,000	0
中国	2	250	1	150	-100	3	415	2	215	-200
四国	2	183	1	73	-110	1	25	0	0	-25
九州	10	6,190	9	5,220	-970	3	360	2	25	-335
合計	69	32,026	58	24,492	-7,534	20	3,745	17	3,185	-560

備考1：今回から、分類の名称を次の通り変更した。

◇ 不法集積 ⇒ 不法投棄のうち、行為者が特定されているもの

◇ 不法投棄 ⇒ 不法投棄のうち、行為者が特定されていないもの

2：自治体が不法と認識しているもので、1件あたり、1,000本以上の案件を集計した。

3：廃タイヤの重量は、10kg/本として集計した。

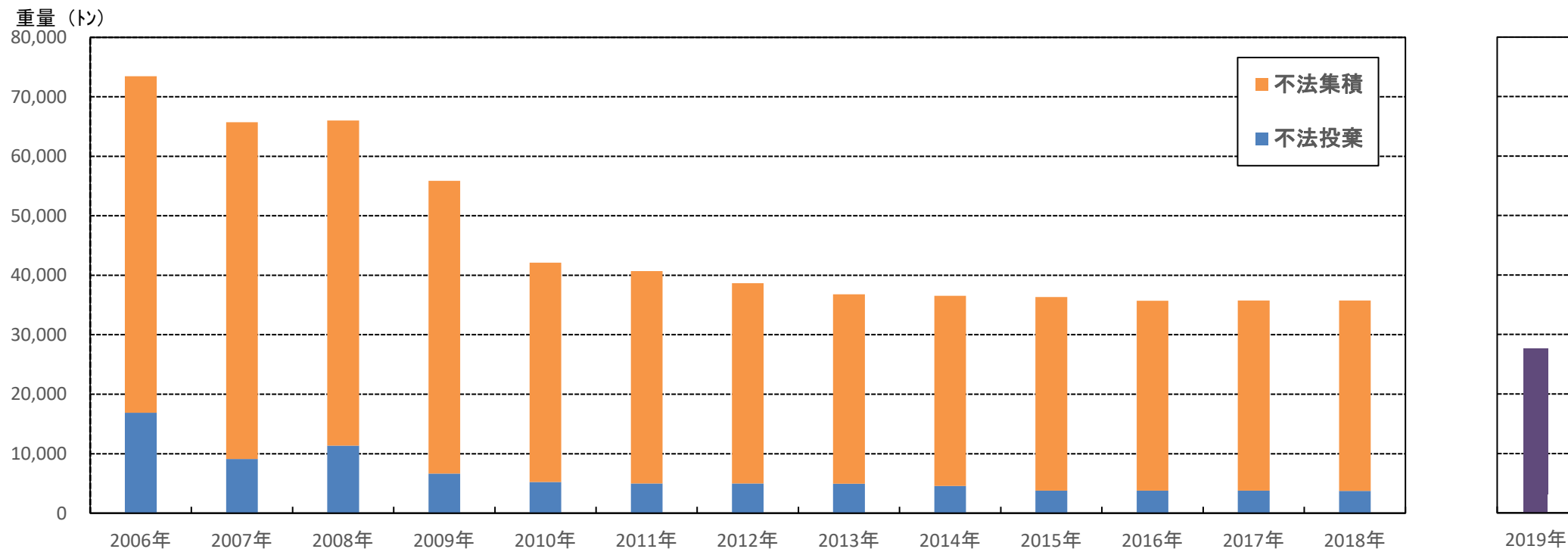
2. まとめ

2019年2月時点での合計数量は、75件、27,677トン。

昨年2月の調査時と比較して、14件減少、8,094トン減少となった。

なお、新規案件が1件、新たな情報として確認されているが、これは新規に発生したものではない。

不法集積・不法投棄状況推移



	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年
不法集積	56,580	56,660	54,670	49,231	36,858	35,693	33,669	31,831	31,948	32,535	31,944	31,966	32,026	注1	24,492
不法投棄	16,870	9,090	11,350	6,648	5,241	4,996	5,008	4,948	4,589	3,794	3,784	3,775	3,745	注2	3,185
件数	126	127	148	140	130	124	123	99	96	96	92	91	89		75

注1: 不法投棄のうち、行為者が特定されているもの
 注2: 不法投棄のうち、行為者が特定されていないもの